



寝取られ堕ちる女達

どん底まで



寝取られ堕ちる女達

どん底まで



メイ 松野
女子大生

メイとは付き合って二年になる。
最初は大学のサークルで知り合って、サークル活動を通じて
お互いの事を知り合う内に仲良くなっていった。
可愛いし、気立ても良い。
正直、俺には勿体ないぐらいの
彼女だと常々思う。

ただ…、メイが奥手で未だに一度もキスを
した事がない。無理させるのは良くないし、
いずれとは思っているが…正直なところ、
寂しい気持ちもある。

ある日、メイから同窓会があるから、地元に戻ると連絡があった。
しかし、その連絡を最後にメイは音信不通になった…。
家にも帰ってないし、大学にも来ず、誰も連絡が
繋がらない状態が続いた…。



メイが音信不通になって二週間以上が経ったある日の夜、スマホの通知音が鳴った。それはメイのアカウントからのメッセージの受信を伝えるものだった。

慌ててアプリを開くと一件の動画が届いていた。恐る恐る動画の再生ボタンを押すとそこには裸で男性器に跨るメイが映っていた…。

「あの…〇〇君、ごめんね…。私、飲み過ぎちゃって…。目が覚めたら…こんな事になって…。本当に…ごめん…。あっ…あの…お願いだから…。動画撮らないで…。な…なんでもするから…。」



あまりにも衝撃的な映像に俺はその場で呆然としていた。すると一件のメッセージが届く。『お前の彼女終わらせといた』と、だけ書かれていた。続けて動画が送られてきた。

ビクッ

ビクッ

「ほぎゃあああああっ!?
おくしゅりいいいっ!!
だめっ!ばかになりゅっ!!
ばかになっひゃうかりゃっ!!
んおっ!んおっおっおおお!!
いぐいぐいぐううううっ!!」

二本目の動画はメッセージ通り嘘偽りなく、彼女の人生を終わらせられるものだった…。



思考が停止した状態で立ち尽くしているとインターホンが鳴った。
玄関に向かうと、そこには彼女が立っていた…。
俺が名前を呼ぶよりも先にメイが口を開いた。

「ご主人様達が、元彼が可哀想だから
一回だけ、えっちさせてやれって…。
面倒だから嫌だったんだけど、
帰ったらお薬えっちの
ご褒美くれるって
約束してくれたの♡」

「○○君、私とえっち
したかったんでしょ？
早くえっちしようよ。
ほら見て、私の体、凄いえっちでしょ？」

俺はメイに手を引かれるまま、寝室に連れて行かれた。
その後、どうなったのかを俺は覚えていない…。



広瀬 ツカサ
OL

「悪いな、ツカサ。
俺のミスで迷惑
掛けちゃって…。」

「気にしないで。
全然カバー出来る範囲だから。
それより、会社では下の
名前で呼ばないって話
忘れたの?」

「そうだ、私この後に会長に呼び出されててね。
なんか大事な話があるとかで…。
だから先に戻っててくれる?」

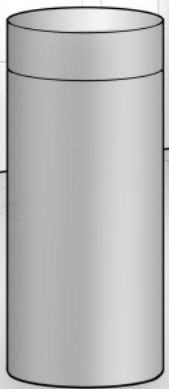
「会長に?
大事な話って?」

「さあ…?」

「あっ…ごめん、そうだったな。」

「しっかりしてよね、
頼りにしてるんだから。」

「ああ、頑張るよ」



会長はツカサに性奴隷として自分に奉仕すれば、
借入を肩代わりしようとして提案した。
両親を見捨てるか、性奴隷になるかを
迫られ、ツカサは決断した…。

「きよ…今日から私…、
広瀬ツカサは〇〇会長の
性奴隷です…。一生懸命、
ご奉仕させていただきます…。」

ツカサの両親は経営する会社が経営難に
陥り、複数の消費者金融から多額の借入を
行ったが、業績回復には繋がらず返済が
滞っていた。そしてその消費者金融の一社は
会長が取締役を兼任する子会社だった。



ツカサは定時後に毎日、会長室に呼び出される様になった。
社内では表向きには重要なプロジェクトに参加している事にされている。
嗜虐趣味のある会長は単なる性奉仕ではなく、
苦痛を伴う方法でツカサの体を弄ぶ事を好んだ。

「むごおおおおおおおっ…。
んぐおおおおおおおっ…。」

グイグイグイ

ビクッ

ビクッ

会長は約束通りにツカサの両親の借入を全て肩代わりしたが、肩代わりした金額を丸ごとツカサ個人の借金とする契約書を作成した。到底返済不可能な金額だったが、会長は特別に性奉仕の時間に応じて返済が進む様に取り計らうとした。同時に契約を口外した時はすぐに差し押さえを行い、君の人生は終わると脅迫された。少しでも返済を進める為にツカサの性奉仕は毎日終電間際まで続いた。



スリーパー

「ぶひっ！
ぶひいいいっ！！」

ツカサの想像以上に
契約は悪質な物だった。
残業時間だけの
奉仕では利息分にしか
ならないと言われ、
朝9時から夜11時までの
14時間を会長室で
性奴隷として奉仕を
強要される様にな
っていた。

「ふんごっ！
ふごおっ！！」

その後も
彼氏の解雇や
奉仕中の画像、
動画等を
ネタに脅迫は
長期に渡って
続くが、彼氏の
浮気を知った
ツカサは自殺を
図ってしまう…。

幸い、未遂に終わるが精神が不安定な
状態が続き、現在は精神病棟に入院している…。



笠木 チサト
テニス部員

「おつかれ、チサト。そろそろ休憩して水分補給しなよ、ほら。」

「お、サンキュー。」

私の彼氏は気が利くねえ。」

「まあな。そう言えば来週から

新しいコーチが来るんだってさ。

海外の元プロで世界ランキング上位の常連だったらしい。」

「聞いた聞いた！」

次の大会絶対勝ちたいからマンツーマンでのレッスン、お願いしてみようかなー？」

『マンツーマンでのレッスンは希望とは
この国の売女は随分と積極的に
誘って来るじゃないか!』

「んおっ!
コーチ…やめっ…
んほおっ!?!」

「おっ!おっ!おっ!
おほおおおおおお!!」

ふるるん

新たに就任したコーチは昔、本国で確かに
英雄視される程の成績を残した選手だったが
同時に複数のスキヤンダルも抱えていた。
特に女性関係の不祥事の噂は絶えなかった。
彼には性欲に溺れやすい女性を直感的に
判別する能力があり、数多くの女性を
破滅させ使い捨てていった。そういった経緯も
切っ掛けとなり国を追われたが、
身辺調査の緩い国を転々とし今も女性を
食い物にし続けていた。

『ふう…そろそろ満足したかい、チサト?』

「えひっ…えひひ…」

「コーチ…もつとお、もつとお…」

フー♡

フー♡

『凄まじい淫乱女だな。』

すでに今日のレッスンは5回目の延長だが、お金は大丈夫かい?』

「彼氏からあ借りるんでえ

大丈夫ですう♡

あいつの家、金持ちだからあ。

続きをお願いしますう、コーチい♡」

『なるほど、それなら安心だが、

彼氏に対して心は痛まないのかい?』

「痛まなあいです♡

浮気中出しセックス最高お♡」



アキ 不良少女
速見 不良少女

「……めん。待った?」

「アタシも今来たところだよ。
ほら、行こうぜ。」

「そーういや知ってるか?」

昨日、隣町で例の脱獄犯の
目撃情報があったんだってよ。」

「え……本当?」

それは怖いね……」

「心配すんなよ。」

もし脱獄犯が現れてもアタシが
ぶっ飛ばしてやるからよ。」

「う……うん。」

今日はアキとの初デートだった。
僕が不良に絡まれていた所をアキが
助けてくれたのを切っ掛けに知り合った。
通っている学校も違うし、性格や趣味も
全然正反対だったけど、僕は段々と
惹かれ合っで、付き合う事になった。

デートの帰り、電車の遅延で地元の駅に
着いた頃には日付が変わっていた。
僕達の地元は田舎町で夜道も暗い。
脱獄犯の話の思い出し、僕は彼女を
家まで送っていく事にした。

ギョッ
ギョッ

シャアアアア

帰り道、ガード下のトンネル歩いているとトンネルの先に大男が立っていた。僕達が大男の存在に気付くと同時に、こちらに向かって襲い掛かってきた。

「逃げろ!!」とアキは緊迫した声で僕に向かって叫ぶと、僕の前に立って大男に応戦する。しかし、アキは一瞬で大男に徹底的に叩きのめされてしまった…。

大男はアキの服を剥ぎ取ると、腰が抜けて動けなくなった僕に見せつけるかの様にアキを絞め落とした…。

「あ…がつ…」

アキを地面に放り投げ、大男は僕の方に向かって来る。

恐怖で僕は完全に動けなくなっていた…。

なんとか助けを求め叫ぼうとした瞬間、

大男に頭を蹴り飛ばされ、僕は意識を失った…。

「おげっ!!げっ!!ぶげえっ!!」

激痛で目が覚めると廃墟の様な
部屋の床に僕は横たわっていた。

ゴッ

ゴッ

ブニャマイマッ

「おげっえっええげええええええっ!!」

顔を上げると大男がアキの口に深々と性器をねじ込んでいた。
アキの頭は激しく揺さぶられ、喉が隆起を繰り返している。
ぐったりしたアキの体は異物を出そうと反射的に嘔吐していた。
アキを助けようと立ち上がるろうとした瞬間、自分の両手足が
あらぬ方向に曲がっている事に気付いた…。
僕は泣きながら大男に何度もやめてくれと懇願した。しかし、
僕の声は男の耳には届かず、アキの嘔吐の声にかき消された。

僕はいつの間にか、また意識を失っていた様で
気が付くと大男はいなくなっていた。

アキはベッドの上に横たわっていた。
どうにかベッドの近くまで這いずって行き、
アキに呼び掛けたが返事はなかった。

しかし、微かに呼吸している事に気付いた。

助けを呼んで来る、意識があるかは分からなかったが、
僕はアキにそう言って、外へと向かった。

大男が戻って来ない保証はない、大男に見付かったら
今度こそ殺されるかもしれない…、それでも僕は助けを
呼ぶ為に床を這いずりながら必死に外を目指した。

外を目指しながら、考えた…。
もし無事に助かったとしても
絶望的な恐怖によって
心に刻まれた傷は一生
癒える事はないかもしれない。
弱くて情けない僕に彼女を
支え、寄り添って生きて
いく事が果たして出来るのか…。

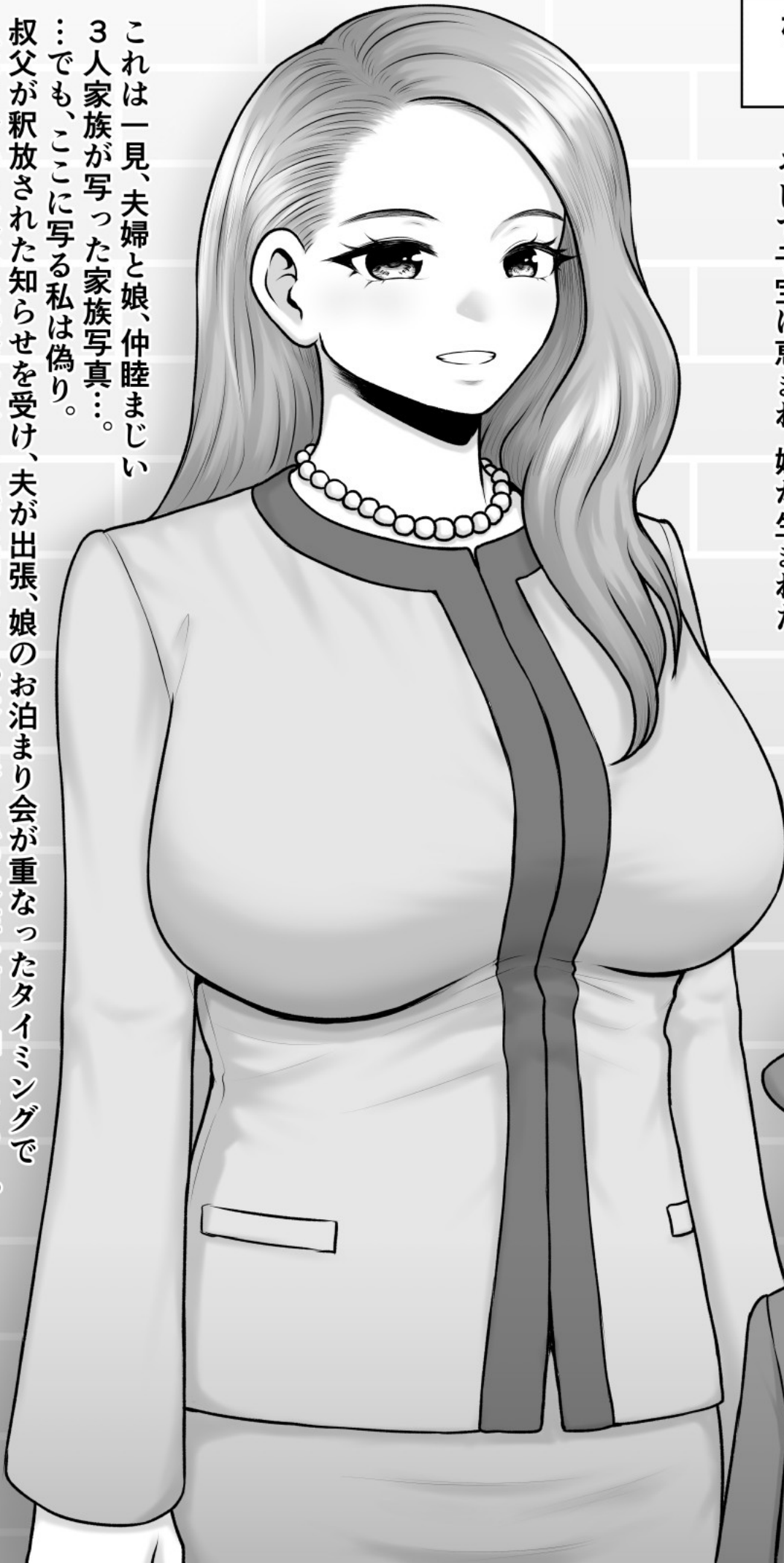
廃墟を出ると、まるで何事も
なかったかの様に夜が明け、
見慣れた田舎町の風景が
目の前に広がっていた…。

桜田 サヤカ
主婦

私には小さい頃、長期に渡って父の義理の弟である叔父から性的虐待を受けていた過去があった。叔父は性的虐待で逮捕された後、様々な余罪が発覚し、懲役18年の有罪判決を受けて刑務所に収監された…。夫は私の過去を知った上で私を受け入れ、愛してくれた。そして子宝に恵まれ、娘が生まれた。

これは一見、夫婦と娘、仲睦まじい3人家族が写った家族写真…。でも、ここに写る私は偽り。

叔父が釈放された知らせを受け、夫が出張、娘のお泊まり会が重なったタイミングで私は自分から叔父に連絡を取り自宅に招いた…。夫も娘も私の本性を何も知らない…。



「ああ…ケツマンコに叔父さんのチンポ…
会いたかった…ずっと会いたかった…
お帰りなさい…叔父さん。」

「ただいま、サヤカ。寂しい思いをさせたな。
そのデイルド…まさか俺が捕まる
前にプレゼントしたやつか？」

「そうだよ…。叔父さんがいなくなっ
てから、毎日…結婚してからもずっと毎日、
このデイルドで叔父さんのチンポを
思い出しながら、オナニーしてたの…。」
「嬉しいぞ。体だけじゃなく、心の底まで
立派なスケベ女に成長したな、サヤカ。」



「あっ…ああああああっ、チンポ!!
18年ぶりの叔父さんのチンポおおおっ!!」

叔父さんが捕まった後、私は叔父さんに言われていた通りに行動した。高学歴、高収入の顔の良い男で、不幸な女を装った私の嘘を信じるお人好しの馬鹿と結婚した。家計管理は全て私が行い、バレないように開設した叔父さん用の口座は現在、一千万円を超える預金がある。好きでもない男と子供を作ったのは偽装もあるが、娘なら叔父さんのオナホにしようと考えたからだ…。

「叔父さんの赤ちゃん産ませて!!
サヤカのマンコに精子
いっぱい出してええええっ!!」

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

9ヶ月後

もわあ

「もうすぐ産まれそうだな。
そう言えばアホ旦那との娘、サヤカを
初めて抱いたのもあれぐらいの
年頃だったな…。」

「うん！あれは叔父さんの
オナホだから好きに使っていいよ！
私のものは全て叔父さんのもの…。
マンコもケツマンコも口マンコも
おっぱいも母乳も陰毛も尻毛も腋毛も
私の体は全部、叔父さんの好きにして！！
だから…叔父さん専用肉便器のサヤカを
いっぱい愛して！！ずっと愛してえええっ！！」

フシヤマ

「愛してるぞ、サヤカ。
お前はこれから一生、
俺の大切な肉便器だ…。」



■あとがき

サークル楽園屋の楽と申します。
この度はご購入頂き、誠にありがとうございます。

19作目です。前作のあとがきで次回は即堕ち2ページ集の新作を…と書いてましたが
今回はいつもと少し構成を変更してみました。キャラクター人当たりのページ数が増えた事で
キャラの掘り下げや魅力をいつも以上に深める事が出来たかと思えます。
また今作はテーマが寝取られと楽園屋にしては珍しく、メジャーなジャンルを
選んでみました。楽園屋らしいアブノーマル要素も含んだ寝取られを少しでも
良かったと感じていただけたら幸いです。

全体的に新しい挑戦もあり、最後まで新鮮な気持ちで作品を制作出来ました。
ただ今回、描き直しの作業が多かったのは今後、改善すべき反省点です。
もっと早く正確に描ける様に頑張っていきたいです。

内容に関しては、初挑戦のジャンルなのもあって悩む部分もありましたが、
色々な形の寝取られを描く事が出来て満足しています。
今後も機会があれば、また違ったジャンルなどでも、今作の様な形式で
作品が描けたらいいなと思っています。

次回はいよいよ20作目、描くのは人生終了シリーズの新作になります。
20作目に描く作品は結構前から決めてありました。
色々アイデアを溜め込んでいるので、今から描くのが楽しみです。

それでは機会があればまた別の作品で。ありがとうございました。

2023年12月24日 楽園屋 楽

Pixiv ID 41315964

FANBOX <https://rakuenya.fanbox.cc/>

X(Twitter) @rakuenya

※違法アップロードは犯罪です。10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金または
その両方が科せられます。違法アップロードには発信者情報開示請求、損害賠償請求などの
法的手段をとらせていただきます。

※2020年10月より改正著作権法が施行されました。
リーチサイトの運営、侵害コンテンツへのリンクの掲載も違法となります。
2021年1月より違法にアップロードされた著作物のダウンロードは刑事罰の
対象となります。一定の要件の下で私的使用目的でも違法となります。
※本作は有償で提供している作品です。

注意事項！

- ・本作品はフィクションです。実在の人物、団体等とは一切関係ありません。
- ・18才未満の閲覧禁止
- ・無断転載・複製・複写・頒布・共有・改変・翻訳を禁じます。
- ・無断転載を行った場合、著作物使用料を請求致します。
- ・本書の内容には犯罪行為の描写がありますが、犯罪行為を推奨するものではなく、実際にこの様な行為を行った場合、法律により罰せられます。絶対に真似をしないでください。
- ・違法アップロード等の著作権侵害行為を発見した場合、損害賠償請求、著作権侵害での警察への通報等の対応を取らせて頂く場合があります。

caution

Illegal upload, unauthorized reproduction, duplication, copying, distribution, sharing, modification, and translation are prohibited.







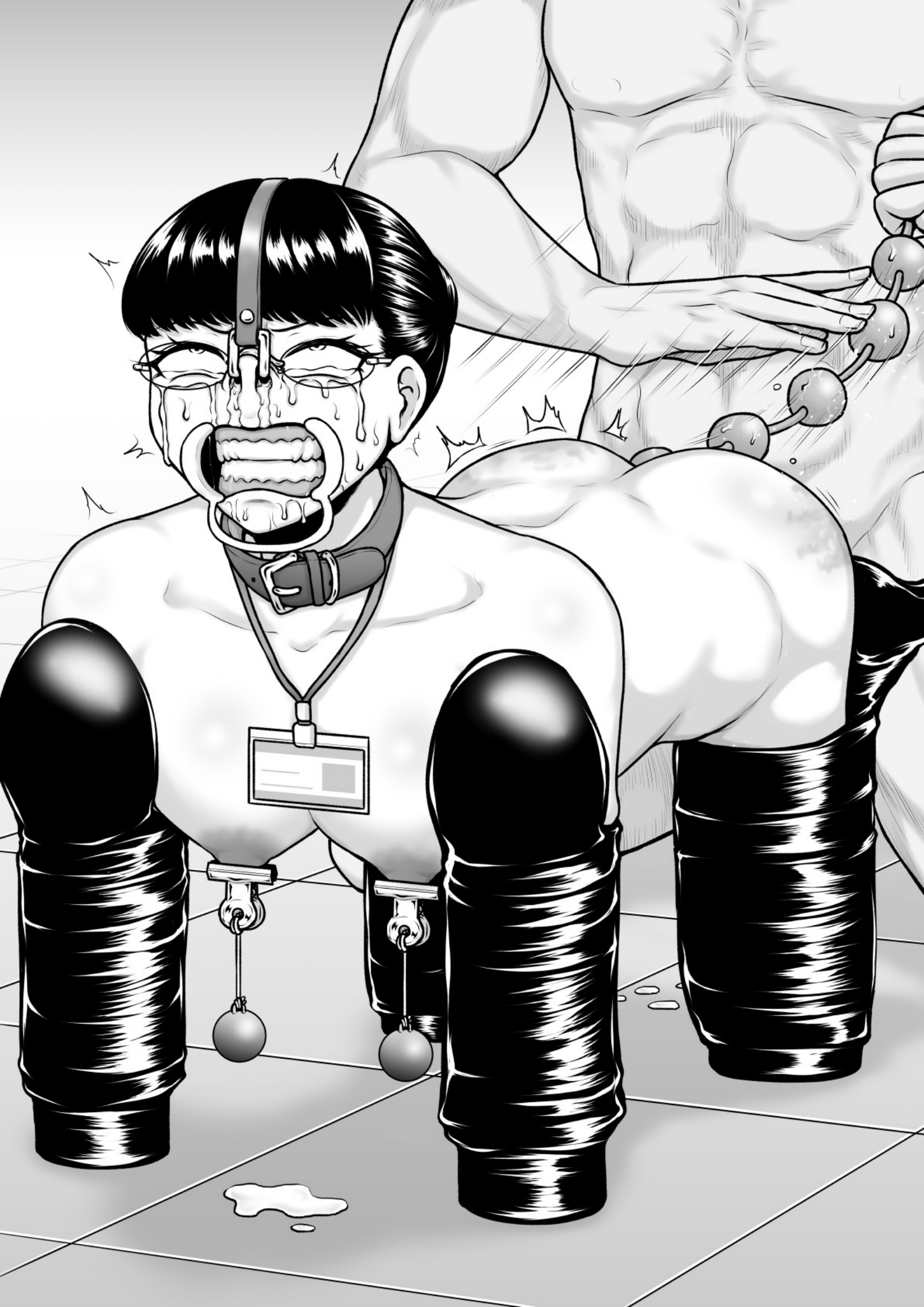






















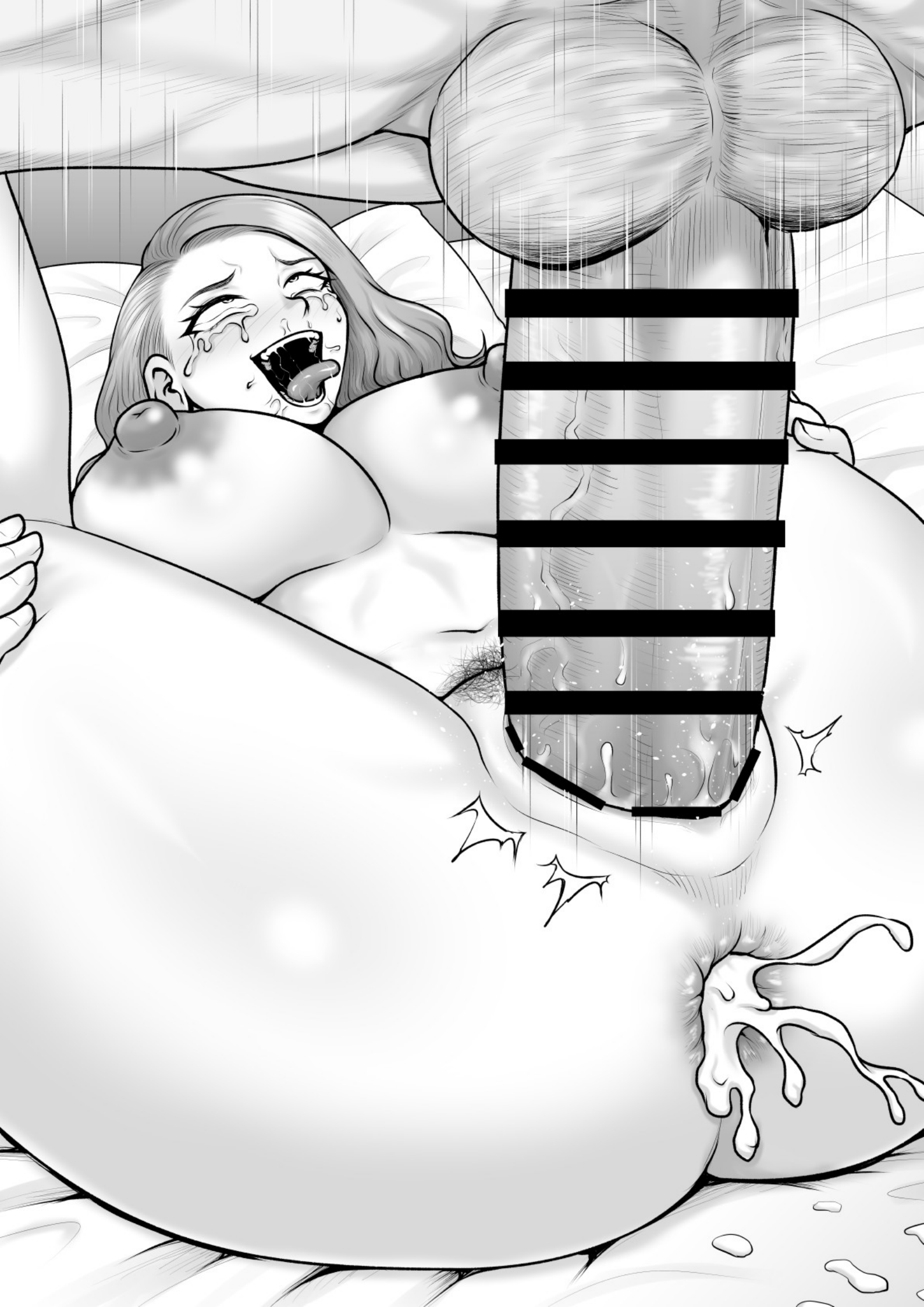
















※違法アップロードは犯罪です。10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。違法アップロードには発信者情報開示請求、損害賠償請求などの法的手段をとらせていただきます。

※2020年10月より改正著作権法が施行されました。
リーチサイトの運営、侵害コンテンツへのリンクの掲載も違法となります。
2021年1月より違法にアップロードされた著作物のダウンロードは刑事罰の対象となります。一定の要件の下で私的使用目的でも違法となります。
※本作は有償で提供している作品です。

注意事項！

- ・本作品はフィクションです。実在の人物、団体等とは一切関係ありません。
- ・18才未満の閲覧禁止
- ・無断転載・複製・複写・頒布・共有・改変・翻訳を禁じます。
- ・無断転載を行った場合、著作物使用料を請求致します。
- ・本書の内容には犯罪行為の描写がありますが、犯罪行為を推奨するものではなく、実際にこの様な行為を行った場合、法律により罰せられます。絶対に真似をしないでください。
- ・違法アップロード等の著作権侵害行為を発見した場合、損害賠償請求、著作権侵害での警察への通報等の対応を取らせて頂く場合があります。

caution

Illegal upload, unauthorized reproduction, duplication, copying, distribution, sharing, modification, and translation are prohibited.